

見附市長 久住時男

地域資源を活かしたまちづくり

①魅力ある拠点を整備 交流の拡大・外出目的







拠点間を結ぶ公共交通の再編





②県外からのバスツアー 交流拠点・地場産業・食文化をパック

観光が無いまちから脱却













世界に誇れるみつけニット









③市民と協働のまちづくり 地域コミュニティ組織・市民活動

地域コミュニティ組織 9地区 人口の約64%をカバー





コミュニティ組織運動会



防犯体制強化



悠々ライフ



ナチュラルガーデンクラブ



健康サポートクラブ

4伝統行事 大凧合戦・商店街活性化









⑤地域ぐるみの子育で 18年共創郷育



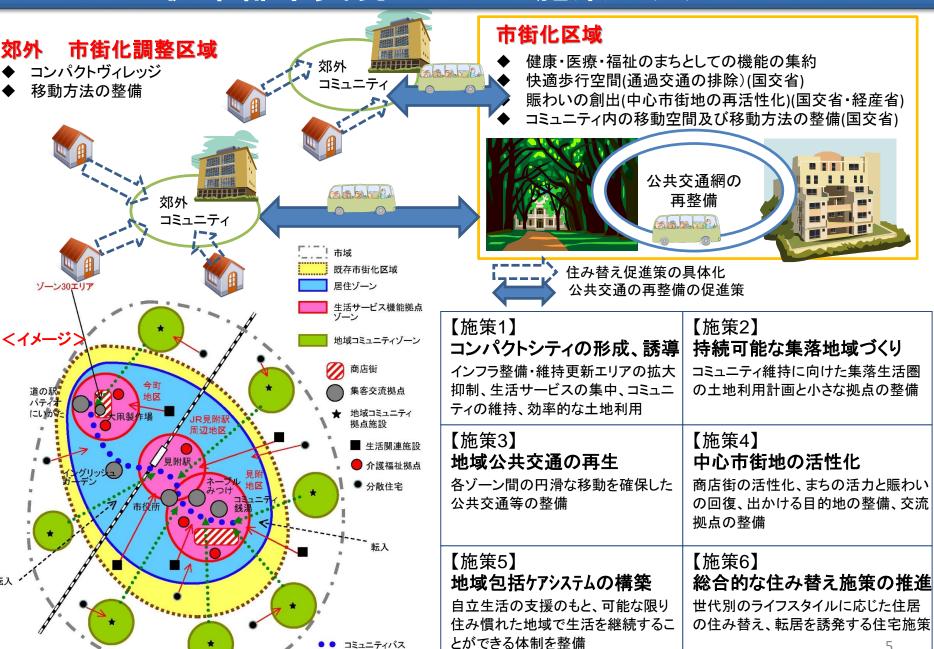




⑥高齢社会への拠点 「医療の里」保健・医療・介護・福祉の連携



健幸都市実現のための施策パッケージ



コミュニティバス デマンド交通

見附市総合戦略(骨子)

仕事と生活が調和し 健幸を実感できるまち見附

安定した雇用の創出

- 雇用の質の確保、雇用の量の確保と拡大
- •大学、企業と連携したしごとの創生
- 見附型地方産業の創生
- 地場産業の魅力増進と活性化
- エイジフリーで参加できる社会

地方への新しい人の流れ

- •地方への移住と定着 (UIJターンの誘導)
- 企業の地方拠点強化、地方採用・就労の拡大
- 有能な人材の育成と確保
- 地方大学等の活性化
- •「健幸」を理解して行動する市民の増加

結婚•出産• 子育て

- 若い世代の経済的安定
- •結婚、出産、子育ての切れ目のない支援
- 子供・子育て支援の充実
- ふるさとを愛する子供の育成(共創郷育の推進)
- 仕事と生活の調和の実現

安心な暮らしを守る

- •安心して生活できる住環境
- 賑わいある中心市街地
- ソーシャルキャピタルが高いまち
- コミュニティが持続できるまち
- ライフスタイルに応じた生活を支援するまち

-